

# 登別市立幌別小学校

指定年度：H24～  
児童数：257名

## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

### ① 主体的に取り組む校内研修体制の確立

主体的に取り組む校内研修を目指し、低、中、高学年及び特別支援によるチーム研修を取り入れている。チーム研修を通して明らかになった共通の課題を踏まえた「目指す授業像」を各チームで設定し、日常の授業改善や実践の検証の視点として活用した。「目指す授業像」の設定により、本校の研究主題や研究内容に即した授業実践を積み重ねることができた。



【公開授業の様子】

### ② 教科担任制による授業改善

今年度より、高学年の外国語科で教科担任制を導入している。前年度3月まで中学校で英語科を指導していた教員が加配教員として配置され、本校と近隣2小学校で外国語科を指導している。外国語科の指導を通じた「目指す児童の姿」を設定するなど、小・中学校の外国語教育の円滑な接続を目指した指導を行うとともに、学級担任等が、専科教員の授業から外国語科の指導について、理解を深めることができた。



【外国語専科教員による授業の様子】

### ③ 若手教員が育つ環境と組織の整備

児童に生きて働く力を確実に身に付けさせるためには、教員の資質・能力の向上が不可欠であることから、今年度は、学年主任をメンターとして配置するシステムに改善することにより、学級経営や授業づくり等について、若手教員が相談しやすい体制が整い、学年の教員が互いに切磋琢磨する姿が見られた。



【メンター研修の様子】

## 2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

□研修部が全てを整えて全体に提示する研修から、各学級における課題を出発点としてチームで主体的に取り組を進めるボトムアップ型の研修体制にしたことで、個々の教員が課題意識をもち、授業実践に取り組むことができた。

R1 全国学力・学習状況調査（算数）領域別平均正答率

	数と計算	量と測定	図形	数量関係
本校	67.0	53.2	77.4	70.7
全国	63.2	52.9	76.7	68.3
全道	60.6	50.2	76.0	65.7

■今年度前半は、授業時数及び授業進度の確保に重点を置いたが、双方の達成の目途が立っていることから、学習内容の定着状況を踏まえた学び直しや補充学習を計画的に取り入れる必要がある。

【アドバイザーから】 北海道教育大学 学校臨床教授 横藤 雅人 氏

学年主任をメイン・メンターとして、ボトムアップ型で若手教員の資質向上を図ることは大変効果的・効率的と考えます。ボトムアップを支えるためにも、校長の強いリーダーシップの発揮が必要であるという一見矛盾するような考えとその具体的な方法を、全道に発信してください。